

# 「7つのメッセージ」で読み解く

## 「幼児期までの」子どもの育ちに係る基本的なビジョン」

### 第1回

## 「子どもの権利と尊厳を守る」 を読み解く

### はじめに

2023年12月、こども家庭庁は「こどもまんなか社会」を実現するために、すべての人に共有したい理念や基本的な考え方を「幼児期までの」子どもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）（以下、「育ちビジョン」としてまとめました。

この「育ちビジョン」は、生涯にわたる身体的・精神的・社会的なすべての面で幸せな状態を示すウェルビーイングの向上を目指しています。そしてそのために、次の5つのビジョンを示しています。

- 羅針盤としての5つのビジョン
- (1) 子どもの権利と尊厳を守る
- (2) 「安心と挑戦の循環」を通して子どものウェルビーイングを高める
- (3) 「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える
- (4) 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする
- (5) こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

この基本的なビジョンが示す子どものウェルビーイングの向上、そしてその先にある「こどもまんなか社会」の実現は、私たち全私保連が目指すところにほかなりません。

この度、全私保連は、こども家庭庁が推進する「こどもまんなか応援サポーター」宣言を行いました。「こどもまんなか応援サポーター」は、「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、自分たちが考える「こどもまんなか」アクションを自ら実行すること、そして発信に取り組んでいく団体や個人などです。私たち全私保連は、長年、さまざまな保育運動を展開し、子どもを中心とした社会をつくっていくと取り組んできました。これらの運動は、「こどもまんなか」の趣旨とほかなりません。現在展開している保育運動「新しい時代は子どもから—子どもの今が未来を創る」を推進することで、「こどもまんなか社会」を目指しています。

保育運動「新しい時代は子どもから」では、私たちが伝えたいメッセージを次のように発信しています。

- 7つのメッセージ
- 1 子どもの思いを受け止めましょう
- 2 子どもの「遊び」を守りましょう
- 3 子ども自身に乗り越える力を育てましょう
- 4 子どもの「自分でやりたい」を大切にしましょう
- 5 子ども同士の関わりが大切です
- 6 みんなで食べると美味しいんです
- 7 子どもは自然が大好きです

この「7つのメッセージ」は、私たちが保育をしていく中で培ってきた、子どもにとって大切なことです。私たち大人には、子どもたちのためによりよい社会をつくっていく責任があります。そのためには、子どもにとって何が必要なかを保育関係者だけではなく、多くの人に知っていただき、実践してもらうことです。そうすることで、すべての大人が子どもを支える「子どもまんなか社会」が実現するのではないのでしょうか。

この「7つのメッセージ」を広く伝えていくこと、これこそが私たちにとっての「子どもまんなかアクション」だと考えています。そこで、私たちが掲げる「7つのメッセージ」へ託した想いや願いから「育ちビジョン」で謳われる「5つのビジョン」を読み解いてみたいと思います。

## 「(1) 子どもの権利と尊厳を守る」

私たちは、「子どものことをわかってほしい」「子どものことを多くの人に伝えたい」という想いから、そして、子どもが大切にされる、子どもが中心にいる「子どもまんなか社会」をつくっていききたいという願いから「7つのメッセージ」を策定しました。ゆえに、この「7つのメッセージ」すべてが「子どもの権利と尊厳

を守る」ためにあると言ってもよいと思います。

その中でも、

### 1 子どもの思いを受け止めましょう

### 4 子どもの「自分でやりたい」を大切にしましょう

は、

子どもの権利と尊厳を守るうえで大切なものだと考えています。

子ども基本法では、子どもを権利の主体として捉え、子どもの声を聞くことが重要視されています。これまで、「子どもだから」「子どもの言うことなので」などという姿勢で子どもの声を聞いたり、思いを受け止めることを十分してこなかったこともあったのではないのでしょうか。しかし、子どもも私たち大人と同じように、それぞれ思いを持っています。それぞれの方法でその思いを伝えようとしています。小さな赤ちゃんでも泣くこと、笑うことなどの表情で伝えています。

「子どもの思いを受け止めましょう」は、子

どもの声を聞くことであり、子どもの思いを受け取っていくことです。子どもの声を聞き、子どもの思いを受け止めていくことが、子どもの権利と尊厳を守る基本となっていくのだと考えています。

また大人の都合で、子どもの「やってみたくない」という思いを止めてしまうこともあったのではないのでしょうか。ただ単に「やっちゃダメ」「ル


ルだから」と、子どもの「やってみたくない」という思いを潰してきたのではないかと思います。もちろん、できない場面もあるでしょう。しかしそういう時には、一人の権利の主体者として子どもと向き合い、しっかりと説明することが必要なのではないでしょうか。子どもが自分でやりたいという思いを大切にすることが重要です。

子どもの思いを受け止め、「やってみたくない」という思いを大切にしておくこと、これが子どもの権利と尊厳を守っていく基本になっていくのではないかと考えています。

.....

こども  
まんなか

全私保連は、  
「こどもまんなか応援サポーター」  
宣言を行いました。

 あおむし通信

<https://www.zenshihoren.or.jp/>

新しい時代は子どもから

<https://undou.zenshihoren.or.jp/>

全私保連  
公式 YouTube チャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UCy3LlVUSg5wmlXdAORkkJXA>

新しい時代は子どもから



公益社団法人

全国私立保育連盟